

**大学コンソーシアム富山 地域課題解決事業
令和2年度 地域課題提案書（新規・継続）**

自治体等名	小矢部市	担当者	所属 定住支援課 氏名 大沼 昌代 TEL 0766-67-1760（内線732） E-mail m.ohnuma@city.oyabe.lg.jp
地域課題名	人口の流出抑制及び転入促進に対する有効な施策について	事業費	200千円
地域課題の背景	<p>当市には大学等がないことから、若者が進学を機会に市外に転出し、卒業後に特に若い女性がUターンせず、人口構成は若い女性が極端に少ない状態であり、結果、未婚率が県内でも高い状況にある。</p> <p>当市では、平成27年に策定した「おやベルネサンス総合戦略」においても若者や女性に魅力のある雇用の創造を基本目標に掲げ、現在、人口対策に取り組んでいるが、人口減少に歯止めがかからない状態である。</p>		
課題の概要	<p>(1) 課題＝解決したい問題の説明、(2) その課題解決において自治体が行うこと、(3) 高等教育機関に求めたいこと、<u>についてできるだけ具体的に記入願います</u></p> <p>(1) 当市で生まれ育った人が、市の良さや魅力を感じ当市に住み続けてもらえるには、どのような施策が有効であるか。</p> <p style="padding-left: 2em;">Uターン促進のために有効な施策はどのようなものがあるか。</p> <p style="padding-left: 2em;">Uターン促進につながる、ふるさとである小矢部市への愛着心の醸成には、どのような施策が有効であるか。</p> <p>(2) 当市では、定住促進を重点的に行うため、4月に定住支援課を設置し、社会動態に対応する各種定住促進施策を実施している。ご提案いただいた施策については、課内で実施を検討してまいります。</p> <p>(3) (1)に記載した問題解決のために有効な施策についてご提案いただきたい。</p>		
事業実施に当たっての協働体制	<p>【自治体等の役割】</p> <p>企画政策課にて高等教育機関の調整窓口として、大学コンソーシアム富山と定住支援課との調整を行う。</p> <p>定住支援課にて調査に関する情報提供等を行う。</p> <p>【高等教育機関の役割】</p> <p>依頼した課題に関する調査及び解決のための有効施策の提案。</p>		

成果の活用 方法	提案いただいた施策の実施の可否については定住支援課で検討し、 可能であれば、翌年度以降実施してまいりたい。
-------------	--

【作成上の注意】

- 1 「事業費」欄は、高等教育機関に対し支出する金額を記入願います。
(自治体等からの事業費が、本事業実施経費の全額となります。)
- 2 提案課題に関する詳細資料(秘密事項は除く)がある場合は、添付願います。
- 3 提案課題が複数ある場合は、別様に記載願います。
- 4 提案書は1ページに収める必要はありません。できるだけ具体的に記入願います。